



# 六郷中だより

六郷中学校だより 第10号 <六中HP>

令和 5年 3月 3日

発行・文責：校長 深澤裕治



## これからも前を見て、上を見て！

まだまだ寒さが感じられる2月の立春を過ぎた頃、日ざしが次第に明るくなってきたことを「光の春」と呼び、さらに日脚が伸びて、鳥の鳴き声を耳にするようになると「音の春」、そして、いよいよ吹く風に暖かさが感じられるようになってくると「気温の春」と呼ぶそうです。校舎の裏山からウグイスのさえずりが聞こえてきました。六郷中学校にも春がすぐそこまで来ているようです。

一年間の活動の節目の時期を迎えています。先日(2/27)には、1、2年生に代替わりをした新生徒会が中心となって準備を行った「3年生を送る会」が実施されました。

3年生にとってコロナ禍と重なってきた中学校生活でしたが、その中でも実施することができた3年間の学校行事をスライドで振り返るとともに、1、2年生からの3年生一人ひとりへの感謝の言葉の呼びかけや、工夫がなされたクイズやゲームをとおしての全校生徒の交流会となりました。

「3年生を送る会」の開催にあたり、3年生の今までの頑張りとし、1、2年生の集中し、力を合わせての取組に対して、次の言葉を生徒たちに伝えました。

3年生の皆さんにとって、六郷中の学校生活も3月9日の卒業式まで今日を含めてあと10日余りとなりました。皆さんの六郷中学校の3年間の学校生活は、まさに新型コロナの感染拡大と予防とがいつも隣り合わせとなっていた3年間でした。そして、第8波となった感染拡大は、皆さんの卒業に併せるかのように、感染者の減少傾向に転じてきています。

さて、3年生の皆さんの六郷中学校での3年間は、新型コロナの逆境に負けてしまった3年間だったのでしょうか。コロナのせいであまりいかないことばかりだったのでしょうか。もし、勇気も挑戦もなかった中学校生活ならば、コロナのせいにして、コロナがあったからと、中学校生活を振り返るかもしれません。

しかし、決してそんなことはないはずです。何回か活動が制限された部活動も、日程が延期となり縮小もしたりした桜樹祭も、そして、先日の全校レクも、逆境を乗り越え、与えられたチャンスを最大限にいかしながら、3年生の皆さんは六郷中学校をやる気と元気で、グイグイと引っ張ってきたと思います。本当に頼もしい先輩でした。

新生徒会本部をはじめとする1、2年生の皆さん。今日の3年生を送る会が、新しい生徒会活動の実質のスタートになると思います。今までの3年生がそうであったように、今回の準備や取組にあたっては、短期間にもかかわらず、新型コロナの課題を乗り越え、丁寧に準備を重ねてきたと思います。コロナに限らず、目ざすべき先を見通した時、思いどおりにはいかないといった課題がつきものです。その課題や困難を乗り越えるための知恵や勇気が、これからの皆さんを大きく成長させるきっかけになっていくはずです。新生徒会の皆さん、1、2年生の皆さん。今までの準備、今日までの取組、お疲れ様でした。

3年生の皆さん。そして1、2年生の皆さん。まだ残るコロナだからこそ、挑戦する姿勢を大切に、新しいことに勇気をもって取り組み、乗り越えられるコロナだからこそ、その新しいことに集中して取り組むチャンスととらえ、前を見て、上を見て、これからも頑張っていきましょう！今日の3年生を送る会が楽しい会となり、成功するよう期待しています。頑張ってください！

## さらなる「ジェンダーの平等」に向けて！（No.2）

六郷中学校の教育活動や生徒たちの日常生活においての、さらなる「ジェンダーの平等」に向けて、まずは指導する立場にある私ども教職員が、理解と知見を深めるべきであると考え、「ジェンダーの平等」に関する研修会を行いました。

今回の研修会においての学びは「基本的人権に関わる問題は多数決で解決してはならない」とこと、「少数派の人たちに優しい社会は、実は多数派の人たちにとっても過ごしやすい社会である」といった点でした。

今回の研修会での学びと「ジェンダーの平等」の視点とを合わせて考えてみたとき、これからのさらなる性別にとらわれない教育活動を目指していくためには、多様な選択が可能である「ユニバーサルな制服」の導入が、一つの方向性としての選択肢になるといった知見を得ることができました。

今後も、従来から継続してきた教育活動における習慣について振り返りを行う機会を設けるとともによりよい知見を探っていきたいと思います。これからも「ジェンダーの平等」に向けて、今後の検討の進捗について、その都度ご案内をしていきます。よろしく願いいたします。